

社会福祉法人小羊学園 事業所名: 児童発達支援事業所 在宅支援センターぱびるす

事業者向け 児童発達支援自己評価票 (集計結果)

		チェック項目	はい	どちらか いらない	いいえ	改善目標 工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	2	・テラスやホールを活用して工夫しています。 ・園庭がなく外遊びが限られています。地域の公園などを活用しますが、移動時間など遊ぶ時間が限られてしまう ・個別対応のスペースを確保することが難しい ・グループ分けをして工夫しています ・子どもの静養室が必要だと思います
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	2	・不足が出て職員同士がフォローしています ・子どもの障害特性や職員の支援方法にもよるところはあります。 ・事務員が居ないため、保育中に電話対応をしなくてはいけないことがある
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	0	1	・絵カード、イラスト、写真を取り入れています ・子どもたちが気になる物は視界から外すように配慮しています ・壁に貼るもの、室内に置くものやその位置は改善が必要と感じます ・静養室などクールダウンにも使用できる部屋が必要です ・クラスからトイレまでの動線が長いと感じます
業務改善	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	0	・消毒などに留意しているが、そこに意識が向き活動の機は狭くなってしまふ ・飛沫防止のアクリル板の取り出し(保育場所、クrippなどの付属品扱い)に苦慮します ・毎日の清掃はできていますが、各種道具の見直しをしたい ・収納場所(ロッカー室)は乱雑で整理できていないです ・日々、掃除には気を付けていますが、床、壁の黒ずみ、カビ、物の配置などが手が回りきらないところがあります ・体を十分に動かせる場所が欲しいです(室内・園庭共に)。部屋の広さが欲しいです
	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	0	0	・クラス、全体の会議にて話し合い、意見を出し合っています
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0	・アンケートや面談、電話等で保護者の話を聞いています
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1	0	・アンケート、評価表の結果をもとに会議で話合っています
適切な 支援の 提供	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	0	1	外部評価は実施していませんが、日々、保護者に評価を頂いていると感じています。改善が必要な事項があれば早急に対応しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	・法人内研修の機会があります。外部研修は、参加者から報告を聞いて共有する機会が設けられています ・サポーターズカレッジ(動画)の活用をしています ・回数が少ない。研修に参加しやすい体制を作りが必要です ・会議や各委員会等であがってきた事を元に研修を行っています
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0	・客観的に捉えるように努力しています
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1	0	・ツールの見直しが定期的に必要ではないか ・標準化されているかは不明だが行っています
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	1	・地域支援については足りない点が多いと感じています。活用できる資源を増やしていきたいと思ひます ・当該事業所が地域で果たすべき役割を改めて考えたいです
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	・課題が出てきた時は支援方法を見直し、話し合いをし、よりよい支援方法を考え試しています。 ・毎月評価を行い変更がある場合はご家族に説明をし、理解をいただくようにしています。 ・1か月毎クラス内で支援内容を確認し、達成できるよう話し合いをしています
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	1	・主に主担が決めますが、意見を出すこともでき相談もしてくれます ・主担が決める、事後報告になることが多いように感じます
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0	・子供たちの様子を見ながら考えるようにしています ・たくさん経験をさせてあげたいと考えています ・固定化しがちな為、発達に繋がる遊びを調べたりする必要があると思ひます。 ・季節により楽しめる活動を取り入れ工夫しています
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	1	・連絡票(連絡ノート)の確認の他に口頭でも確認を行っています ・主担の指示でその日の流れの理解ができています ・送迎等で時間がとれず短時間でやりとりになることが多く課題です
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	1	・その都度話ができ不安なく保育に取り組みをしています ・できない目が見られます。確実に行える工夫をしたいです。活動中に気づいた点を記入するようにしています ・情報共有することで、自分が気づかなかった事を知ることができ重要です	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	・記録をとるだけでなく、検証もしたいです ・記入方法を定期的に確認し合ったり、見直したりするなど共通理解を図ってきたいです	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10			・ご家族に話をこまめに聞くようにしています ・月末に見直しをし、次の月に向けて計画を立てています。時間の確保が課題です。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	1	0	・日々、関係者との連絡をしています
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	0	対象外
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	0	0	対象外
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	0	・定期的なやりとりが必要と感じます。訪問は関係づくりに大切だと思います ・互いに連絡をとりやすい関係性の構築を目指したいです ・コロナ禍により来園、訪問ができないことがあり課題です
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	0	・入学前は引継ぎができますが、入学後は連携をとることが難しく感じます
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1	1	必要に応じて判断・対応をしています。専門職機関との連携が仕組みになると活用しやすくなると感じています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	10	・コロナ禍では難しいです。幼保に併行して通うお子さんは交流できていますが、単独になると難しがあります。 ・保育者のニーズがあるか伺っています
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	0	2	・参加するのは事業所の一部の職員ですが、報告を聞かせて頂く機会があります。
保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0	・送迎時や日頃のノート、電話連絡でお話をしている。信頼関係が築けるよう続けていくことが大切だと感じている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	0	9	・必要に応じてアドバイスは行っています。 ・活用を催促するようでは、親との信頼関係が壊れるため十分配慮した伝え方を心掛けています
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	0	計画書の説明だけでなく、家庭訪問や電話でも話をしています
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	・ご家庭から発信があった時だけでなくこちらから悩みがないか聞くようにしています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	10	・コロナ禍で機会を設けることが課題です。 ・保護者会や父母の会等は設置していません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0	・相談や申し入れがあった時には児発管や施設長へ報告し、その日のうちに対応するようにしています
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	0	・月1回写真付きのお便りを配布しています
非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	0	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	・連絡ノートを活用したり、絵カード、写真等を用いています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	9	閉鎖的にならないよう留意していますが、地域住民をご招待する行事は実施していません
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	1	1	・訓練は怠らないようにしています ・ご家族への周知は完全では無いと思います。 ・法人の看護師による研修をうけています
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	・様々な想定をした訓練を実施しています。訓練内容は委員会を月1回で実施しています。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	0	入園時に必ず確認をしています。	

非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0	0	・入園前に受診していただき指示書等出してもらい対応しています
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	・日頃からヒヤリとした事例を多く感じる必要であり、提出用紙も簡単に記入できるように工夫しています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0	職員全員で同じ研修を受けることが難しいため、代表者に参加して頂き報告を必ずするようになっています。また、委員会も設けており啓発として会議内で確認しています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	1	2	幼児の支援では活動室等に「鍵」をかけた状況が見られるため検討していきたいと思います。